

国境と領土の確定

今日の問い

明治政府は、周りの国々とどのように国境と領土を定めたのだろう。

左の問いに答えるつもりで、右のノートの下線に語句を書こう。最後に「まとめ」で今日の問いに答えよう。

問い・キーワード

ノート 下線に語句を書こう

1 周りの国々と国境をどう定めたか。

樺太・千島・小笠原・竹島

1875年、ロシアと 1 樺太・千島交換条約 を結び、樺太をロシア領、千島列島を日本領とした。1876年には 2 小笠原諸島 も日本の領土と認められ、1895年には沖縄県に 3 尖閣諸島 を、1905年には島根県に 4 竹島 を編入した。

2 北海道や琉球はどう組み入れられたか。

開拓使・屯田兵・琉球処分

1869年、蝦夷地を北海道と改めて 5 開拓使 を置き、土族などを 6 屯田兵 として移住させて開拓を進めた。もともと住んでいた 7 アイヌの人々 には同化政策が進められた。1879年、政府は琉球藩を廃止して 8 沖縄県 を置いた。この一連の動きを 9 琉球処分 という。

年表 — この単元のできごと

1869

蝦夷地を北海道と改め、開拓使を置く

1875

樺太・千島交換条約を結ぶ

1876

小笠原諸島が日本の領土と認められる

1879

琉球処分(沖縄県を置く)

1895

尖閣諸島を沖縄県に編入

1905

竹島を島根県に編入

まとめ

今日の問いに答えよう。「樺太・千島交換条約」「琉球処分」の2語を使って、2文で書きなさい。

(例)政府は樺太・千島交換条約を結んでロシアとの国境を定め、小笠原諸島・尖閣諸島・竹島なども日本の領土とした。南では琉球処分によって琉球王国をなくして沖縄県を置き、日本の領土に組み入れた。

☐ 樺太・千島交換条約がわかる☐ 北海道の開拓のようすがわかる☐ 琉球処分の内容を説明できる

できた

/ 9

